

たけのこ

2024年12月17日
自主学童保育そえのはクラブ

みんな大好き！クリスマスケーキ作り



「今日はケーキ作りだね？」「そうだよ」

「ヤッター!!」

学校から帰ってくるなり そんなやり取りが、はやく1.2年



かわいしい。意外5.6年生で生(とびはねたりしないけれど)、にんまり楽しみにしている様子は伝わる。うきうき、ハッピーな時間を、みんなと1しほに過ごす。大切な行事、ケーキ作りを今年もやりました。物価高騰の折、6号サイズのスポンジ台も予約が購入困難。"ひとり1.5粒のイチゴは確保したい"と今日お母さん購入担当の大ちゃんはおちこのスーパーを駆けまわって、買ってきてくれました。いつも通り、各グループごとにホールケーキ1台ずつ、自分たちで生クリームをあわせてデコレーションします。道具や材料を台所に取りに来たり返却したりするのは、リーダーである3年生の役目。とんとん先へ進むリーダーさんもしほは、ボート座っていて、作業が始まるのんびりさん。良い悪いではなく、これはそのリーダーさんの性格なのでいしほにいる高学年が気が利くかどうか、もポイントになります。「ホウ、早く取りに行こ！」と高学年に言われておかしを見る。あっ、もうとりのグループはスポンジもついで。やはり、となる7ヶ月です。こうしてささのの3年生は鍛えられ、その経験を次へ伝えてくれるようになる。これこそ、日々の積み重ね、自主学童保育の良いところなんです。(自己満足は別...) さて、ケーキ作りの様子は"ささの仲間たち"の写真にもある通り、楽しく密にやっていました。

「全員で作る」という掟のような原則は皆わかっている、生クリームのあめたても必ずひとり回はできるように順番にやっています。お母さんやとっている「もう交代だよ」と声がかかると、さしほはかたして並べたフルーツをどのように分けていくか、グループによって誰か音頭をとっているか、で方針が決まるようです。間にはさみ果物のとクリーム分量の加減や置き方など、まじり考えるのは



→ 6年生の女子も、「こうやった方がいれしかなない？」など、11-12歳児を輩出している。ささのながめながら、「すいぶん成長はなあ」と思(指)。他の6年生は、低学年のころは、静かにテーブルのすみこで先輩方が作っていきのえじとながみおけたかです。「うちの子、おどろいて自分の意見を言うなんてできるのかしら？」とも心配している親御さんかいたら、「大丈夫、6年になつていきと愛おしくよ」と教えてあげてください。ささのの小学生の集団の中での6年生の存在感、が特別です。勉強、あそび、スポーツ、行事、あそびの場で、最上級生である6年生とつねと立派に育っていて、もともと口数の少ない人でも、ちゃんと気配りに後輩を助けられる、そんなしっかりしたことにもなっています。ささのほにずっと通ったくさんのことを乗り越えてきた6年生たちの生活、残り少なくなってきたか、めいっけい楽しみたいと思(指) (ちよと感傷的... 話かそれか) さて、できあがったケーキをいしほは切り分ける時がきました!!

うす高く積みあげられたクリームとフルーツ、ナイフを入れる端からボロボロくずれてしま(指) いている皆さん「あーあ、こわい。する(指) くん「大丈夫、くずれても味は変わらないから!!」やさしいおえ。次のグループのケーキは、きちんとシムトリーなデザイン。「これは割とくずれずに切れるね?!」「でしょ!!」円の中心にくちやと盛るとくずれやすいって、経験でわかっているから。だからま中にはフルーツ置かないで言ったのよ」とささ。よく考えてるねとにかみんがで「しほはまじりー!!」おいしい! 8等分x6台のケーキすべてをたべた。ささ「ごちそうさま」のあとに来たDBの、くん。「なにっ66.ケーキ? オシのほ? 遅かった〜」と残念そうでした。(やさしい指) ひとりもらってましたけどね。(笑)

12月生れの誕生会



12月生れは、くんたびでして。ハチホロクラブに入っている、くんは、忙しななかささのほへ来てくれました。この日は別。5.6年の仲間も「久しぶり」に「会いに来る」と楽しみにしていたようです。お誕生日の人への質問タイムでも、おざける人もいなくてじっくりほんか、やりとりしています。その後のゲームでは「室内宝探し」をして、3年生が考えたヒントを頼りに家中を皆で走りまわって盛りあがりました。なかの発見がたかた宝「宿題をする前に使うもの」→お宝は「えんぴつけり」でした。(指)